

令和5年度 学校経営方針

荒川区立第六瑞光小学校 校長 柿原 直昭

I 教育目標と基本方針

今までどおりの方策や手順ではなく、コロナ禍で確認できた新たな取組や柔軟な対応力、問題解決力を私たち自身も身に付け、新しい生活に根ざした教育活動を展開していくことが肝心である。

子供にとってよい学校とは、どんな学校か？よい学校は常に小さな改善が試みられている学校である。結果の善し悪しや成果の有無のみを問わず、現状をよりよくしていこうとするチャレンジをしている学校は学校力・組織力がある。「失敗を恐れず何事にも一生懸命取り組む」ということを念頭に置き、社会の変化や新たな教育観への柔軟な対応や新しい時代の教育に向けた持続可能な組織体制を構築していく。

[学校経営の基本理念] 大人も子供も「自律」と「共生」を目指す

自律：自ら気付く・考える・判断する・決定する・行動する 感情をコントロールして冷静に議論する

共生：一人一人の違いを知る・理解する・認める・尊重する・生かす

[重点方針]

①人権尊重教育推進校として、全教育活動をとおして確かな人権感覚を涵養していく

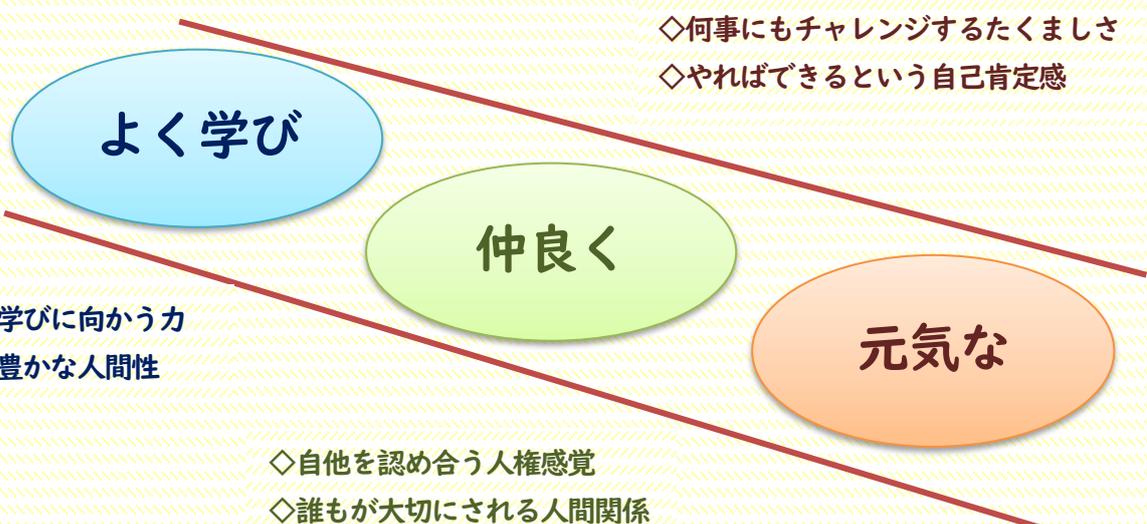
②教科指導の専門性を持ち、深い学びにつなげる授業力を磨く

③ICTスキルの向上を図り、リモートを活用した学習支援体制を確立することで不測の事態に備える

④「チーム六瑞」として協働的・組織的な取組や学年・学級経営を重視し、小さな改善や試みを繰り返し、学校力・組織力を創造する

⑤たけのこ教室、個に応じた支援を工夫して展開し、誰一人取り残さない学校づくりを目指す

教育目標『よく学び 仲良く 元気な 六瑞っ子』の達成をとおして、『今日が楽しく 明日もうれしい 六瑞小』を掲げた学校像を目指す



2 教育活動を行う上で共有したい基本的な考え方

(1) 『あたりまえのことはあたりまえに』

⇒ 六瑞は、あたりまえのことをあたりまえに行う学校である

- ・子供たちのさらなる成長を願い、教師というプロ意識をもつ
- ・子供たちのよさや可能性を認め、それを伸ばし、さらに子供たちに十分自覚させていく
- ・私たちの努力の成果が子供たちの姿として現れるように努力を惜しまない

(2) 『チームとして』

⇒ 六瑞に集う私たちは、チームである

- ・自らの職務に責任と誇りを持ち、チーム六瑞にどのようなプラスを生み出しているのかを考えながら職務にあたる
- ・私たちは仲良し集団でもなければ、馴れ合い集団ではない。全ての教職員が五者でありたい

(3) 個の自立

⇒ 教職員一人一人が自立し、六瑞の文化をさらによりよくすることを目指す学校である

- ・一人一人が六瑞はどうあるべきか考え、自分は六瑞にあたって何を考えるべきか、何をすべきか常に具体化する習慣を身に付ける
- ・「自分はこうしたい」という考えや思いをもって学校運営にあたる。校務分掌は、自己完結を目指し、責任を転嫁することはしない

3 具体的方策

(1) 学習指導

○ 「主体的な学び」の構築

- ・自ら学習課題にチャレンジし、自己の学びの過程を振り返り、次なる目標をもたせる授業を展開する

○ 「対話的な学び」の充実

- ・自らの考えを表現し、伝え合い、共感的かつ肯定的に人の意見や考えを受け止める力を育てる

○ 「深い学び」

- ・事実、知識、経験を相互に関連付けて、教科の特質に応じた見方・考え方をもちこたせる見通しをもった授業づくりをする

○めあてまたはねらいの板書・掲示、授業終末の振り返りを全ての授業で実施する

○授業においてインプットとアウトプットの機会を組み込む授業を展開する

○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る

○「特別の教科 道徳」の授業の充実。教材を扱った授業を必ず35時間行い、45分を導入、展開前段、展開後段、終末の授業づくりを確立する

○家庭学習や宿題を工夫し、自習（自修）力を高めさせる学習習慣の確立をする

○日常的かつ学習用具的にタブレット PC を活用する

○教科担任制を視野に入れ、多様な授業形態を試行する。（交換授業・合同授業・習熟度別指導）

○タイムマネジメントを意識した授業づくりをする

○各自授業実践研修に努め、各自治体や学校の研究発表や研修等に積極的に参加し、自己の研鑽に励む

	<p>○学校図書館への来館を日常化する。各学年、週複数回の来館を目指す</p> <p>○読書月間とともに「家読」の取組を充実させ、達成率を重視する</p>
(2) 学びを支える3つの視点	<p>く 生活 く</p> <p>○生活指導の中心は挨拶と整理整頓である。徹底した指導を繰り返し行う。</p> <p>○指導の言葉を吟味する。(指摘・ダメ出しではなく、諭し・考えさせ・道筋を示す言葉で)</p> <p>○「自己理解」と「判断する力」を伸ばす生活指導を目指す。今後どうするかを考えさせる指導を根気よく続ける</p> <p>○全教育活動をとおした心の教育を推進する。いじめ防止に向け、ふれあい月間の活用や、都スクールカウンセラーや区心理専門相談員、SSW、特別支援教室等との連携を図る</p> <p>○不登校対応として、年間をとおした適切な登校刺激を行う</p> <p>○「六ちゃん水族館」での飼育活動をとおして命の大切さを身近に感じさせる</p> <p>く 健康 と 体 く</p> <p>○運動量と質を大切にされた体育科及び体育的活動の充実を図る</p> <p>○外遊びと集団遊びを奨励する</p> <p>○体力向上努力月間(10月)を活用した体力向上を推進する</p> <p>○早寝、早起き、朝ご飯を奨励する</p> <p>○保健学習をとおして健全・安全についての理解を深める</p> <p>○定期健康診断の結果を基に適切な指導と治癒勧告を行い、治癒率100%を目指す</p> <p>○栄養士と連携し、食育の充実を図る。献立や食材についての適切な指導を行う</p> <p>く 環 境 く</p> <p>○清潔で明るく美しい環境をつくる。特に玄関、廊下、トイレの美化に努め。</p> <p>○教職員自らが子供たちのよき見本、環境であることを深く自覚し、その意識を高め、六瑞の風土がよりよい雰囲気を生み出すように心掛ける</p> <p>○持続可能な社会を目指し、地球環境を考えられる子供を育てる</p> <p>○掲示物をとおした学ぶ環境づくりに努める</p>
(3) 特別活動	<p>○学級活動の充実を図る。子供たちからの提案や生活の即した話し合い活動を行うことで、よりよい集団を目指す。⇒ 学級活動(1)、(2)、(3)の充実</p> <p>○学校行事を行う際に、事前から事後までの一連の活動を意識した計画を立て、児童に目的の明確化と振り返りを丁寧にさせることで、「望ましい人間関係の形成・集団への所属感や連帯感を深める・自主的実践的な態度の育成」という学校行事の目標達成を目指す</p> <p>○児童の自発的、自治的な活動を中心としてクラブ活動、委員会活動、そして学級経営の充実を図る</p> <p>○係活動、当番活動の活性化を図る</p> <p>○「キャリアパスポート」を活用して計画的にキャリア教育を実施する</p>
(4) 特色ある教育活動	<p>○東京都教育委員会人権尊重教育推進校の取り組みを充実させる。研究主題「自他の大切さを認め、思いや考えを伝え合う児童の育成」の具現化を目指す</p> <p>○全校児童で取り組む金管マーチングバンドの活動をとおして、「認め合い、励まし合い、教え合いながら、目標に向かって力強く努力を続ける児童を育成する。また、自他を尊重する思いやりの心や自己有用感、自己実現に向けた力を培う</p> <p>○すずらん学級と1組との交流の継続を図る。行事的なことだけでなく、日常の行き来を常に意識して交流する</p> <p>○「六瑞スタンダード」を継承し、学習習慣の定着を図る</p>

<p>(5)その他</p>	<ul style="list-style-type: none">○地域の一員として、行事等に積極的に参加するよう指導する○ホームページの充実やスクリレの有効活用を図り、積極的な発信を行う○服務規律の遵守に向けた取組を徹底する○仕事の軽重、段取りを適切に行い、在校時間の短縮、休暇取得の適正化に努める○学校評価を組織的・定期的に行い、改善策を具現化する○校舎の適正な維持、管理、修繕を図る
---------------	--